

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そらいろ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 20日		～ 令和7年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 6日		～ 令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム固定化しないよう工夫し、幅広いあそびや活動を提供している。	子ども達の成長や状況に合わせたプログラム作りを行うよう、リーダーを中心に職員間で意見を出し合いながら立案を行っている。あそびの中で、楽しく・全力で・自分らしく表現できる環境となるよう工夫し、子どもたちの”やってみよう”という気持ちをふくらませ、子どもたちと一緒に活動をつくるようにしている。その経験から、社会性や柔軟性、自主性など生きていくための力が育まれることをねらいとしている。	子どもの発達や気持ちの変化、思いへの寄り添いなど分かりやすく見える化した独自の支援プログラムを作成し、職員間でしっかり共通理解を図る。また、実践検討等の研修や公開療育に積極的に参加し、職員1人1人の知識・スキルを高め、あそびや活動の引き出しをふくらませていく。
2	生活空間が構造化されており、それぞれ子どもたちのその日の調子に合わせて対応できる環境がある。	室内に、あそぶ部屋・ゆっくり休んだり、読書したりする部屋・制作や学習など集中して取り組む部屋を設け、子どもたちがその日の調子や気分によって、自分でどの部屋でなにをして過ごすか決めて過ごせるようにしている。子どもたちの選択を尊重しながら、あそびや活動に合わせて、部屋の使い方を工夫して実践している。	今後も子どもたちにとって、分かりやすく心地よく過ごせる環境となるように、あそびや活動に合わせて各部屋を使い分けながら活動していく。ケガにつながる場所がないか、点検等を行い、整理整頓された清潔な環境を保てるようにする。
3	職員の資質向上を図るため、法人内でも定期的に研修を行い、外部研修等にも積極的に参加している。	平均して月に2回、職員全体での会議を行い、実践の振り返りやケース検討、施設内研修を行っている。また、外部研修や公開療育にも積極的に参加し、伝達研修を行うことで、職員全体で外部研修で学んだことを共有するようにしている。	今後も定期的な施設内研修と積極的な外部研修への参加を行い、個々のスキル・資質の向上を計って良いチームづくりをしていく。また、第三者による外部評価の機会を設け、より良い実践にしていけるよう努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの開催があまりできておらず、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設けられていない。また、ご家族に対してペアレントトレーニング等の研修機会を設けられていない。	保護者会等に関しては、共働き家庭も多く、日程調整の難しさがある。かつ、保護者からのニーズも低いのを感じる。保護者向けの研修等の実施に関しては、職員のペアレントトレーニングに関する知識が充分ではないので、まずは職員のペアレントトレーニングに関する知識・理解を深める必要がある。	まずは職員のペアレントトレーニング等に関する知識・理解を深め、保護者向けの研修の計画をたてていく。親子参加の行事をもっと充実させていき、保護者のニーズに合わせて保護者交流会などの開催も計画していく。
2	地域の子どもたちとの交流の機会があまり持っていない。	地域の公園で会った子どもたちと一緒にあそぶ機会はあるが、地域の児童クラブや児童館等との交流の機会は持っていない。互いのスケジュールや、目的・ねらい等を考慮すると、積極的に交流の場を設けることに躊躇ってしまう。	児童クラブ等との交流の機会を設ける必要性やねらい等を職員間で話し合い考え、児童クラブ等との連携を図る。まずは、信頼し合える関係性の構築を目指し、交流の場の実施の検討をしていきたい。
3	支援開始前の打ち合わせは必ず全員で行っているが、支援終了後の打ち合わせが実践に携わった全員で行うことができないことが多い。	職員の勤務形態の違いにより、実践後に全員で集まって話すことが難しい。	実践後に全員で振り返りの場を設けることは、物理的に難しさがあるので、その日の振り返りは参加できるメンバーのみで行い、参加できなかった職員へはその日のリーダーがそれぞれに振り返りの聞き取りを行ったり、退勤前に振り返りシート等に記入したりするなど、その日の支援に携わった全員の意見が共有できるやり方を工夫し、取り入れていく。